慶應義塾大学学術情報リポジトリ
Keio Associated Repository of Academic resouces

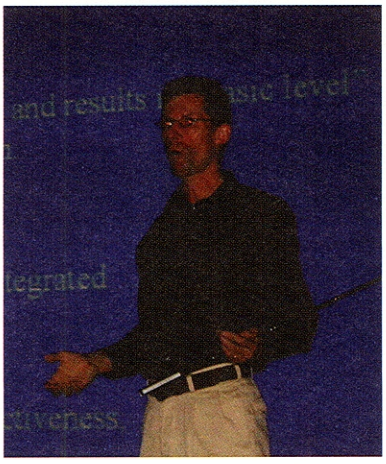
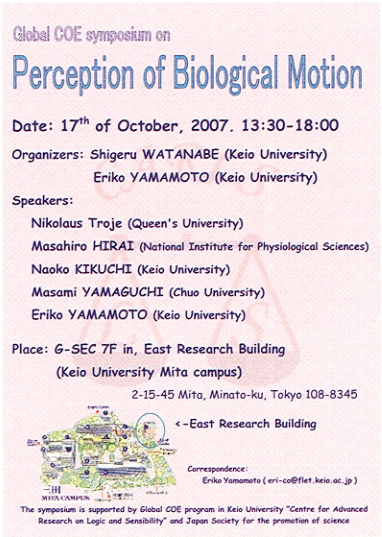
Title	シンポジウム : Perception of biological motion
Sub Title	
Author	山本, 絵里子(Yamamoto, Eriko)
Publisher	慶應義塾大学グローバルCOEプログラム人文科学分野論理と感性の先端的教育研究拠点
Publication year	2007
Jtitle	活動報告書 Vol.1, (2007.) ,p.19- 19
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	第2章 : シンポジウム等の活動報告
Genre	Research Paper
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO12002002-20080300-0019

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

5 シンポジウム
Perception of Biological Motion

開催日　2007年10月17日
企画班　脳と進化班
企画者　渡辺 茂，山本絵里子
講演者　Nikolaus Troje (Queen's University). Masahiro Hirai (National Institute for Physiological Sciences). Naoko Kikuchi (Keio University). Msasami Yamaguchi (Chuo University). Eriko Ymamoto (Keio University)

平成19年10月17日（水）、慶應義塾大学三田東館G-SEC 6階において、"Global COE symposium on Perception of Biological Motion"が開催された。Nikolaus, F. Troje 先生（クイーンズ大学）が日本学術振興会招聘研究者として慶應義塾大学を訪問するにあたり、本シンポジウムは企画された。現在、心理学の分野において、バイオロジカルモーションは、その知覚研究のみならず、社会的認知機能や社会的認知機能を担う神経機構を検討するために広く使用されている。そこで、本シンポジウムでは、バイオロジカルモーションについて、多角的側面から議論することを目的とした。塾外から、Nikolaus, F. Troje先生（クイーンズ大学、日本学術振興会招聘研究者）、平井真洋先生（自然科学研究機構生理学研究所）、そして、山口真美先生（中央大学・科学技術振興機構さきがけ）を講演者として招聘した。また、塾内からは菊池菜穂子（慶應義塾大学）、山本絵里子（慶應義塾大学）が講演を行なった。本シンポジウムは、バイオロジカルモーション知覚について、心理学、コンピュータサイエンス、そして、脳機能研究などの様々な視点から議論する機会となり、大変意義深いものであった。

（山本絵里子）